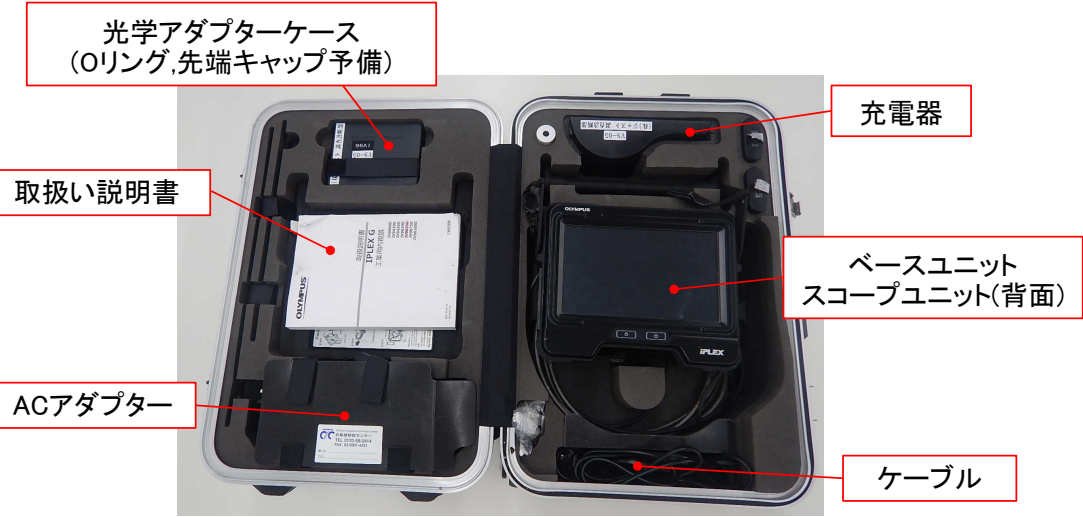


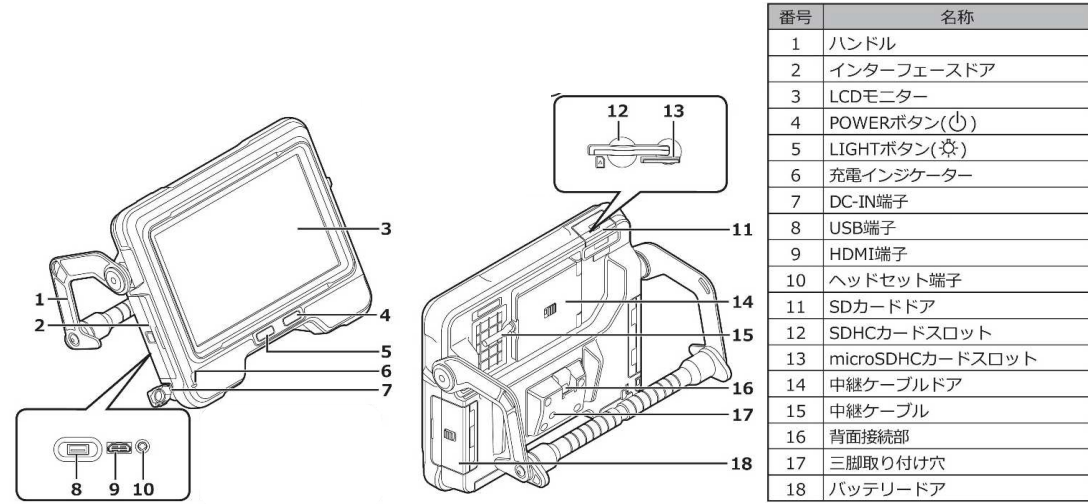
工業用ビデオスコープ IPLEX GX/GT

操作マニュアル

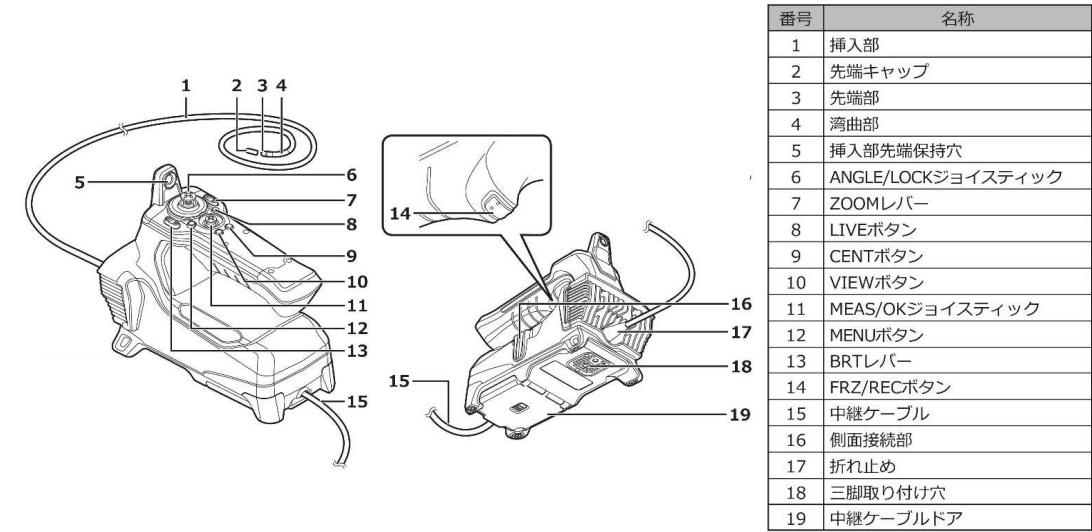
① 収納ケース内容



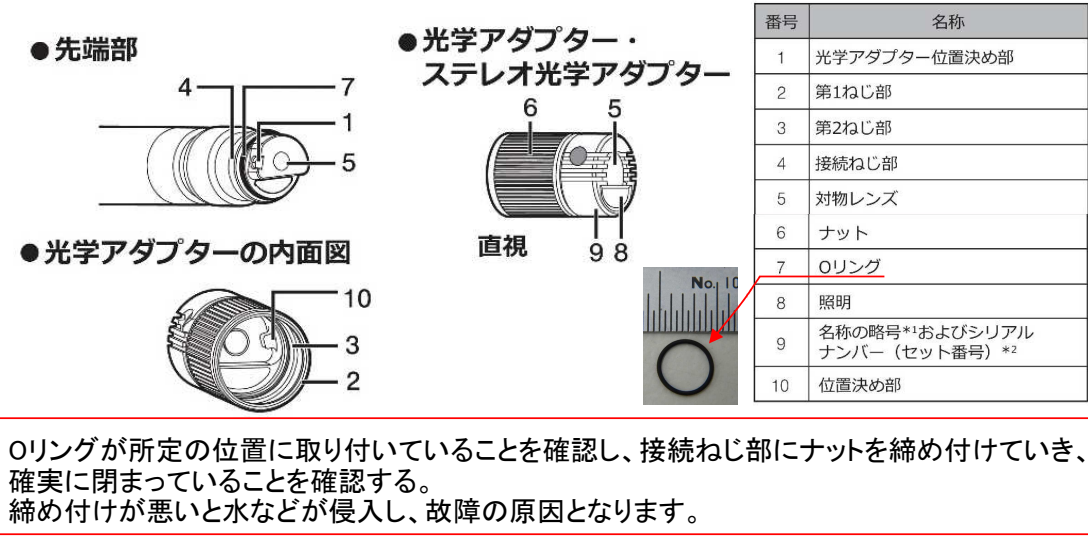
②-1 各部の名称(ベースユニット)



②-2 各部の名称(スコープユニット)



②-3 各部の名称(先端部 光学アダプター)



③-1 操作方法



ベースユニットのPOWERボタンを2秒長押しすると、スコープユニットの4つのボタンが点灯し、電源が入ります。
(電源を切る際も2秒長押し)



※画面操作はタッチパネル操作、またはスコープユニットのジョイスティックで行います。

モニターに光学アダプター選択が表示されるので「120D/FF」を選択します。

③-2 操作方法(スコープユニット)



- ① MENUボタン
メニュー画面を表示/非表示します。
- ② VIEWボタン
・短押し: フォルダーに静止画ファイルがある場合、ビュー画面を表示します。
・長押し: サムネイル画面を表示します。
- ③ LIVEボタン
ライブ画面を表示します。
- ④ CENTボタン
挿入部先端をセンタリングします。
- ⑤ ZOOMレバー
上下でデジタルズーム5倍まで設定できます。
- ⑥ BRTレバー
上下で16段階の明るさの調整ができます。
- ⑦ ANGLE/LOCKジョイスティック
・押下: 挿入部先端部の湾曲操作をロック・解除します。
・スティック操作: 挿入部先端部の湾曲操作をします。
(湾曲操作のロック中に操作すると、湾曲部の角度を微調整します。)
※湾曲操作はケーブルを伸ばした状態で行ってください。

③-3 操作方法(静止画・動画)



FRZ/RECボタン

- ① 短く押すと画面がフリーズし、フリーズ中に長押しすると静止画が記録されます
- ② 長押しすると動画記録開始のダイアログが開きます。録画する場合はそれに従います。動画記録中にFRZ/RECボタンを押すと静止画が記録できます。長押しで終了します。

操作時の注意事項

- ・湾曲操作を行う際は、ケーブルを伸ばした状態で行ってください。
- ・リングを所定の位置に設置し、ネジ部を確実に締めて下さい。リングの外れ、損傷があったり、ネジ部が緩んでいると水などが侵入し故障の原因になります。
- ・挿入部の無理な抜き差しは故障の原因となります。(湾曲部のロックは解除してください)
- ・挿入部先端部に強い衝撃を与えないでください。
- ・ベースユニットの各部キャップが開いた状態では防塵防滴となりません。
- ・使用後は水や油、汚れなどを拭き取ってからケースに収納し、ケースを閉める際はケーブル等を挟まないようにしてください。

④再生

撮影したデータを確認する場合は、VIEWボタンを短押しすると、直近で記録した静止画や動画を全画面で表示します。

VIEWボタンを長押しするとサムネイル画像が表示されます。また、データを削除する場合はサムネイル画面から操作してください。

※1データを記録するのに必要な容量およびSDカードに記録できる枚数の目安

記録形式/記録時間		1 ファイルのサイズ	記録枚数/時間(4GB あたり)
静止画		約 400KB	約 10500 枚
動画(1 秒あたり)	30f	約 650KB	約 100 分
	60f	約 1,300KB	約 50 分
音声(1 秒あたり)		約 35KB	-

⑤ スケーラー計測機能

2点間の距離が既知の箇所がある場合は、その2点間を設定し、その他の測定したい箇所の距離を計測することができます。
ただし、IPLEX GTIにはこの機能はありません。

計測手順

1. 起動
測定したい画像が表示されているときにMEZS/OKジョイスティックを押す。
2. 基準点の指定
画面内に写っていて、長さの分かっている2点間にそれぞれカーソルを合わせてMEZS/OKジョイスティックを押す。
3. 基準長の設定
MEZS/OKジョイスティックを上下左右に倒して分かっている長さ(基準長)を入力します。
確定するにはMEZS/OKジョイスティックを押す。
4. 計測点の指定
計測したい2点にそれぞれカーソルを合わせてMEZS/OKジョイスティックを押す。

⑥ データの抜き取り

記録したデータは、ベースユニット上部のSDカードドアを開き、SDHCカードスロットからSDカードを引き抜いて、PC等に保存してください。
(保存後はSDカード内のデータを消去してください)

